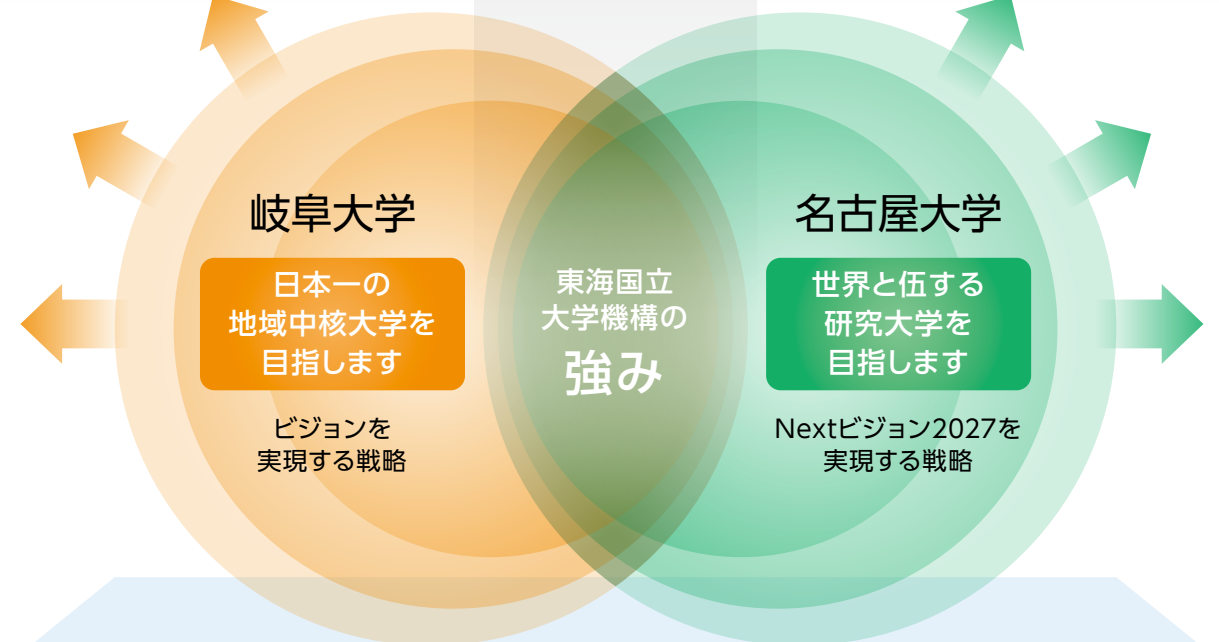


“Make New Standards for The Public”を
ミッションに掲げ、「知とイノベーションのコモンズ」として、
地域と人類社会の課題解決への貢献を目指します。

社会の公共財（コモンズ）として
ミッションとビジョンの実現を目指す

強みを活かした
東海機構直轄拠点と重点事業の発展



東海国立大学機構

バリューを大切にしつつ、両大学の発展を支える4つの基盤

ガバナンス
財務経営
人材の好循環とDEIB
デジタルユニバーシティ構想（キャンパスDX）と 連携・共創・統合プラットフォーム

ミッション

「Make New Standards for The Public」

東海機構が知とイノベーションのコモンズとして、常に国立大学の新たな形を追求し、地域と人類社会の進歩に貢献し続けることを、存在意義とする。

ビジョン（6～10年後のありたい姿）

「知とイノベーションのコモンズとして、 地域と人類の課題解決に貢献する新たな国立大学を確立」

東海機構設立時に謳った「地域創生貢献と国際競争力強化の同時達成」をベースに、コモンズ概念の導入と地域・人類の課題解決への貢献を入れ込んだ。第4期中期目標・中期計画期間に、社会の公共財として未来に向かう新しい国立大学法人像を確立する。

バリュー（行動指針、行動規範）

- ・人類社会課題に挑戦を続け、社会に貢献する。
- ・あらゆるステークホルダーと連帯・連携する大学運営を果たす。
- ・常に改革を志す、自由闊達な教育研究環境を実現する。
- ・未来創造に貢献する総合知を創造する。
- ・ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン & ビロッキングを達成する。
- ・感動と喜びのある働き方を実現する。

東海国立大学機構ビジョン2.0の 4×4ストラテジー

ビジョン実現のための活動の基本となる4つの事業と、持続的かつ着実にビジョンを達成するための4つのマネジメント基盤を確立するための取り組みを「4×4戦略」と定義し、強力に推進していきます。

4つの柱と東海機構直轄拠点

1 教育・ 人材育成 【アカデミック・commons】	目標	勇気をもってともに未来を創る人材の育成
	戦略1	国際水準の高等教育実現のための環境整備
	戦略2	未来を創り支える人材育成のために共通教育を推進する環境整備
	戦略3	大学院・博士課程教育の充実とキャリアパス確立による博士人材の活用促進
	戦略4	リカレント・リスキリング教育の充実、拡大
2 研究・ 価値創造 【クリエイション・commons】	目標	先端研究成果創出拠点、国際卓越研究大学(名大)・地域中核大学(岐大)を目指すための研究力強化
	戦略1	国内外の研究者が集い、領域を超えた連携・融合と最先端研究、新たな価値創出ができる環境整備
	戦略2	若手研究者の育成・支援(創発的研究)、国際頭脳循環のためのシステム整備
	戦略3	知財保護、研究インテグリティ、知の価値化を保證できるシステム整備
3 社会連携・ 産学連携 【イノベーション・commons】	目標	TOKAI-PRACTISSの実現
	戦略1	東海地域を人間中心のTech Innovation Smart Societyに変革することへの貢献
	戦略2	人類社会が抱える課題解決に貢献し、国際的プレゼンスを向上
	戦略3	特徴あるスタートアップ・ベンチャー育成・支援システムの整備とグローバルエコシステムの構築
4 国際展開 【グローバル・commons】	目標	世界とつながり、多様な人々とともに発展する基盤の確立
	戦略1	JDPの推進・JDP協議会の機能強化など、全国的なリーダーシップの発揮
	戦略2	海外からの留学生増加と東海機構学生の海外留学の増加
	戦略3	国際共同研究の拡充と充実



4つの基盤

1 ガバナンス	目標	社会の公共財として、 透明・公正な運営と迅速・適切な意思決定を行える体制を構築
	戦略1	機構内外の多様なステークホルダーからなる新たな合議体と、機構構成員のモチベーションを高めるシェアド・ガバナンスによる、新たな機構運営体制の構築
	戦略2	一法人複数大学制度下での機構と構成大学間の連携強化、経営と教学の分離および監督と執行の分離による透明性、公正性、効率性・迅速性の実現
	戦略3	機構内外で、ガバナンス人材の探索、確保、育成、配置
2 財務経営	目標	機構の持続的かつ着実な発展を可能にする財務経営の確立
	戦略1	トータルバジェットの下での中長期的な財務経営戦略の策定とCFOの配置
	戦略2	事業計画作成:事業内容=資金・資源、組織・人材、アウトカム指標・目標設定
	戦略3	機構のInstitutional Researchシステム構築とエビデンスに基づく経営
3 人材の好循環と DEIB	目標	国内外から多様な人材が集う多様でインクルーシブなキャンパス環境の創出、 優秀な研究者や多様な職種の人材確保と活用
	戦略1	優秀な研究者・教員と多様な職種の人材の確保・活用のための人事給与システム
	戦略2	キャンパスのDEIB環境創出のための設備・制度の改善、サービスの充実
	戦略3	多様なネットワークを通じた機構外の諸機関・セクター・外部法人などとの人材の交流・循環・活用の推進
4 デジタルユニバーシティ (DU)構想 (キャンパスDX)と 連携・共創・ 統合プラットフォーム	目標	東海機構がcommonsとして広く社会と連携するDX基盤の確立と 連携・共創・統合による社会的インパクトの増加
	戦略1	地域創生への貢献:東海機構を核にした連携・共創プラットフォームTOKAI-PRACTISSの充実、拡大
	戦略2	地球規模の課題解決のための国内外とのアライアンス構築(CN・気候変動、エネルギー、医療、食糧、格差など)
	戦略3	東海機構の機能強化のための大学間連携・共創・統合(新たな法人の統合)への取り組み
	戦略4	DXを活用したcommonsの実現:100万人がつながるDU、DXによる大学運営・サービスの革新の基盤づくり

東海機構直轄拠点

法人統合のメリットを生かした取り組みの重点的支援

戦略1	糖鎖生命コア研究拠点 (IGCORE): 世界をリードする研究拠点を構築
戦略2	航空宇宙研究教育拠点: 地域創生に貢献する大学の事業モデルの確立
戦略3	健康医療ライフデザイン統合拠点: 人生100年時代、少子超高齢化社会、都市一極集中時代の新たな健康医療ライフデザイン統合拠点の構築

東海機構直轄拠点をめざす重点事業の拡充

現在の機構直轄拠点に続く拠点の創出

戦略1	食と農の教育・研究のトップ拠点をめざす農学研究教育拠点の支援
戦略2	カーボンニュートラル社会実現に貢献する取り組み
戦略3	両大学が連携して取り組む新たな機構直轄拠点の拡充